

令和6年度分 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

事業所名	子ども発達総合支援センター			
保護者評価 実施期間	令和 6年 12月 16日		～	令和 7年 2月 28日
保護者評価 有効回答数	対象者数	174人	回答者数	82人
職員評価 実施期間	令和 7年 2月 17日		～	令和 7年 2月 21日
職員評価 有効回答数	対象者数	31人	回答者数	31人
事業所向け自己評価表 作成日	令和 7年 3月 7日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で支援・連携ができる	・様々な専門職員が各々の高い専門性を活かし、支援方法を検討している。	・専門職員の知見を職員間で共有するとともに、引き続き多職種で連携を図りながら、チームでの支援に取り組んでいく。
2	専門性を活かした支援体制を図っている	・様々な専門職員がいることで、個別療育が充実している。 ・集団療育にも専門職員を配置し、こどもの特性に応じた多角的なアプローチをしている。	・研修等により各自のスキルアップを図り、職員の専門性を高めていく。
3	支援内容が充実している	・保育所等訪問支援、家族支援など、こどもや保護者に必要な支援につないでいる。	・園やこども家庭センターと連携を図りながら、必要な支援を捉えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育園等や地域住民との交流がない。	・センターを利用しているこどもは市内全域から通所し、日常では地域の保育園等に通園しているため、地域や他のこどもたちとは、就園先で交流していると捉えている。	・保護者のニーズ調査を行い、センターの支援体制も踏まえながら検討していく。
2	保護者同士の交流機会が少なく、きょうだい同士の交流機会はない。	・児童発達支援センターとして、通所支援のほか、保育所等訪問支援、家族支援、地域デイサービス等、多種多様な支援に取り組んでおり、投入できる職員数に限りがある。	・保護者交流会を試験的に実施するとともに、保護者のニーズ調査を行い、センターの支援体制も踏まえながら検討していく。
3			